



^{18}F -FDG PET検査を受ける方へ

監修: 京都大学医学部附属病院 放射線部 中本 裕士 先生
一般社団法人 日本核医学会

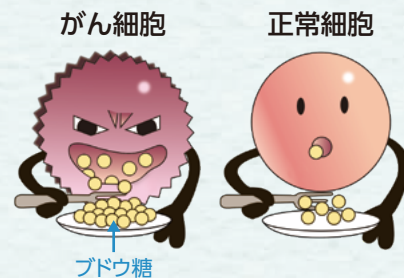
検査日時

年	
月	日 ()
時	分

この検査はフルデオキシグルコース (^{18}F -FDG) という検査薬を注射した後に撮影を行い、細胞の状態や働きをみる検査です。がんや心臓・脳の病気の診断に役立ちます。

1 ^{18}F -FDG PET検査とは(がんの検査の場合)

がん細胞は正常な細胞に比べて活発に活動するために、エネルギー源として正常細胞よりも多くのブドウ糖を取り込む性質があります。その性質を利用してブドウ糖によく似た放射性検査薬の ^{18}F -FDG を体内に投与し、がん細胞が ^{18}F -FDG を取り込んだ様子を画像化することでがんの有無や位置を調べることに役立ちます。



2 検査の流れ

検査にかかる時間は2~3時間程度です。検査が終わるまで検査室を出ることはできません。

1



当日は、検査の流れについて説明をします。その後、問診や血糖値測定等を行います。結果によっては検査ができない場合があります。

2



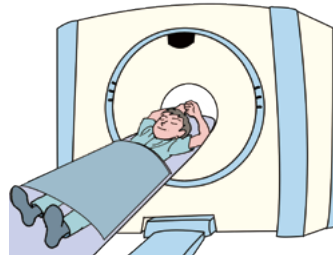
検査薬 (^{18}F -FDG) を静脈に注射します。

3



検査薬 (^{18}F -FDG) が全身に行きわたるまで待機室で約1時間 安静にします。この間は読書、電話、パソコンなどせずに過ごしてください。

4



排尿後、約30分かけて撮影を行います。終わりましたら待機室で安静にします。場合によっては時間を置いて2度目の撮影を行うことがあります。

*検査時はネックレス等の貴金属類、また金具・ボタンなどのついた衣服や下着ははずしてください。

3 検査の安全性について

日本の場合、日常生活における自然放射線による被ばく線量は、年間約2.1mSv(ミリシーベルト)です。

^{18}F -FDGによるPET検査1回あたりの被ばく線量はおよそ2.1~4.9mSvであり、PET/CT検査の場合はそこにCT検査分が加わるため8.5~17.5mSvとなります。

いずれの検査も健康被害の心配はないと考えられる線量です。

裏面もかならずご確認ください。



18F-FDG PET検査を受ける前の注意



検査前の食事制限について

食事の影響を強く受ける検査です。食事制限はかならず守ってください。

	検査当日 朝食	検査当日 昼食
午前検査の方	<input type="checkbox"/> 絶食 <input type="checkbox"/> ____ 時までにごすませてください 	検査後、通常通り 
午後検査の方	____ 時までにごすませてください 	絶食 

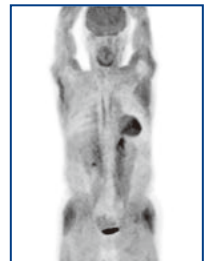
食事制限が守られた場合

がんが疑われる部位(←)が、明瞭に描出されています。







食事制限が守られなかった場合

18F-FDGが筋肉に集まり、がんが見えにくくなります。



検査前の運動やお薬服用などの制限について

運動	糖尿病薬
検査前日と当日の運動は控えてください。 体操  自転車 	検査当日のお薬の服用あるいは注射は主治医にご相談ください。 お薬の服用  注射 

- お薬を服用している方は、主治医にご相談ください。
- 水分摂取の制限がある方は、主治医にご相談ください。
- 妊娠中の方・妊娠の可能性のある方は、主治医にご相談ください。

- 授乳中の方は、検査後 _____ 時間は授乳を控えてください。
- _____
- _____

ご不明な点、ご不安に感じる点がございましたら、お気軽に検査スタッフにお尋ねください。
 なお、ご都合により検査を受けられない場合、また検査の時間に遅れる場合にはかならずご連絡ください。

病院名および連絡先